



復刊第150号  
題字 吉岡弥生

# 巻頭言

副会長 中濱昌子

鶯が梅の枝に止まっている。梅園を訪れた人々はしばし足を止めて眺めている。一幅の画のようなこの風景は平和そのものでした。しかし、私たちの医療界では、医療保険制度の改革案、介護保険問題等々大きな問題が山積しています。医療の発達により（発達し過ぎたとおっしゃる先生もいらつしやいます）高齢化社会、長寿国になったのです。一九七〇年には高齢化率が7%を越え、二十五年後の一九九五年には過去最高の14・5%になり、二〇二五年には25%を越すと予測されています。高齢になるというのと身体の不調を訴える部分も多くなります。成人病・ロイマチス等、また転び易くなり、ちよつとしたことでも骨折したりします。しかし、いつでもどこでも誰でも適切な医療を受け、安楽な生活をするべきです。

薬害エイズの問題もまだ解決せずやとと公判が始まったところ。阪神・淡路大震災から二年余経ちましたが、未だに仮設住宅で不自由な生活を余儀なくされている人々もたくさんいらつしやいます。一部の仮設住宅は立地条件が悪く入居者ゼロでとり壊すとか、無駄なお金を使つたものだと思います。いまだに横浜駅前（私は横浜市民です）などでこの罹災者への募金に立っている人を見かけます。ただ、ロシアのタンカーから流出した重油、福井県沿岸の重油回収作業に阪神地区から二年前にお世話になった恩返しにとボランティアに参加していた人たちの姿は非常にほほえましいものでした。先日のワークショップで渡辺久子先生のすばらしいお話を伺うことができました。幸いに私は神奈川県保育園医部会で半月前にも先生のお話

を伺いました。育児の難しさ、大切さを今さらながら痛感いたしました。親だけでなく子どもたちと接する私どもも心してその任に当たらねばと意を新たにいたしました。

私は乳幼児の診療時には必ず眼の高さを合わせて話しかけています。乳児はいい顔で笑ってくれます。幼児は気易く話しかけてくれます。中・高校生になつても誤つた道に落ち込まないように子どもたちの主張も十分耳に入れるようにしなければと思ひ、母親たちにもそのように指導しています。ある小児科の先生は、「三十年後に暴動が起こるのではないかと案じます」とおっしゃいました。元中学校教員をしていたある女性は「不良」と「普通」の垣根が曖昧になつている。あやふやなこの境界線の周りにいる子どもたちの心を知りたいと臨床心理学を学び直し青少年相談センターの相談員になり、大人が眉をひそめるような場所であらわしている子どもたち、つかみどころのない子どもたちだが、社会に適應させようとか、がんばれとかは思わず彼らの「今」を否定せず、丸ごと受け入れられたらと子どもたちとのいる場所へ足を運ぶ。シンナー経験者の子どもたち、行き場もなく苦しんでいる彼らの現実を認識しつつも希望は失っていない。「常用を止めようとお互いに励まし合う動きが彼ら自身の中から芽生えてきた、その力を信じたい」といつていらつしやいます。

## もくじ

巻頭言……………中濱 昌子 (1)

### 各部報告

庶務部……………石原 幸子 (2)

会計部……………栗原 久子 (2)

学術部……………平敷 淳子 (3)

事業部……………丸茂 昌子 (3)

渉外部……………松井ひろみ (4)

広報部……………稲生 襄 (4)

### 平成8年度講演研修会

講演研修会を開催して……………大澤真木子 (5)

働く母親と子供の心の発達……………渡辺 久子 (5)

### 支部だより

千葉支部だより……………三橋 麗子 (5)

宮城支部だより……………今泉 栄子 (6)

岸 直枝先生を偲んで……………金子栄美也 (7)

添田百枝先生のご逝去を悼む……………野澤 良美 (8)

大森安恵先生のご著書を読んで……………稲生 襄 (8)

近況あれこれ……………佐伯 輝子 (9)

理事会議事録………………………… (9)

会員動静………………………… (10)

編集後記………………………… (10)

先日、孫のおともでロッテ・ワールドへ行つて参りました。どの子どもも素暗らしい笑顔でした。○賑はへる ロッテワールドに子どもらの

笑み溢れをり 春の陽のなか  
どうか少年少女たちが正しくまっ  
すぐに伸びてほしいものだと心から  
願わずにはいられません。



各部報告

石原幸子

〔平成6年度〕

○総会 東京都主催、新役員を選出、会長... 〇阪神・淡路大震災(7年1月17日)...

〔平成7年度〕

○総会 埼玉県支部の主催。大宮ソニック... 〇西太平洋会議(8年3月20日)...

〔平成8年度〕

〇定款改正案 審議の報告をたびたび厚生省へ提出... 〇定款改正案...

会計部 栗原久子

平成6年度から8年度まで三年間の会計部は、中濱副会長指導のもと... 〇承知のようにこの時期はバブル後の経済不況の時代で、日本全国が...

定款の改正案を提出してきたが、そのつと新しい事項に対して指摘を受け... 〇新旧役員交代会...

学術部 平敷淳子

学術部は従来通り常任理事(名)橋本葉子、平敷淳子、理事(二名)大沢真木子、山本薫子... シンポジウム、講演研修会、ワークショップは、平成6年5月から平成9年2月までの間に六回開催された...

事業部 丸茂晶子

平成6年度より平成8年度まで三年間の事業部の事業について申し上げます。1 地域診療への助成... 平成6年度分 東京女子医大地域保健研究会の地域保健活動(長野県下伊那郡上村)...

学術部 平敷淳子

各位教授として一線でご活躍の先生方です。研究助成への応募数も年々増加し、かつ全国規模でなされています... 学術部四名による西太平洋地域会議(平成8年3月、ニュージーランド、橋本葉子地域会議議長)抄録集の翻訳も今期の活動の一部として印象深く残っています。

事業部 丸茂晶子

各年度下記のごとく行われました。各地区の先生方のご苦勞により、いずれも大変盛会に行われました。ご覧になってよく分かるようにこの三年間はエイズについての講演が多く、吉永先生のユニークなお話は多大な感銘を与えました...

学術部 平敷淳子

民が来場され子供の教育への考え方を生かす事への意識の見直しが真剣になされた感銘を与えました。平成7年度分 高崎市医療センター お母さんの知らない息子たち... 平成8年度分 名古屋市ウイールあいち... 平成9年10月22日 武蔵野市公会堂...

事業部 丸茂晶子

6年分 平成6年3月31日現在 年金加入人口数 四〇八六〇人... 平成7年3月31日現在 年金加入人口数 四二五三〇人... 平成8年3月31日現在 年金加入人口数 四〇〇二〇人...

学術部では医学に貢献なさった先生に吉岡弥生賞を、医学研究者に対しては助成をおこなっており、前者を加藤庸子先生、横山和子先生(平成8年11月) 地域医療助成についての規約を作成... 2 公衆衛生 <公開講演会>

託の年金担当者より説明あり。現状を可能な限り努力して2・5%に保つようとするとの結論。年金事情をよい状態に保つために加入者を増やすことが重要という結論となった。

### ▼渉外部

松井ひろみ

渉外部の主な活動は、二つの全国組織、国連NGO国内婦人委員会と国際婦人年連絡会との交流である。その一つ、国連NGO国内婦人委員会は、国連関係の問題に協力する事を目的として一九五七年に結成された。国際連合の経済社会理事会上において、NGOとして認められている国際的な組織の婦人団体に加盟している日本の婦人団体でなければ参加できない。現在、日本女医会を含む十団体で構成されている会である。もう一つの国際婦人年連絡会は、一九七二年の国連総会で決定された「国際婦人年」を受けた日本大会の決議を実現するための連絡会として結成された。以来二十年間、国際婦人年のテーマ、平等、発展、平和に加え、婦人の地位向上と男女平等を主眼に五十一団体が加盟して活動してきた組織である。

7 ルーベンダン  
平成8年度より廃止  
8 風土社編集月刊誌「いきいき」への投稿  
会員各氏のご協力により順調に執筆をいただいている。

ゆる分野への女性の登用、②女性の起業家への支援等、税制や社会制度の改革、③女性の健康を支援する施策の推進、④性感感染症対策、⑤発展途上国に対する教育、健康、経済社会活動の三分野における女性への協力体制づくり、等、男女共同参画社会の形成の促進に関する二〇〇〇年度までの国内行動計画が盛り込まれている。

もう一つの話は人口問題だ。一人の女性が一生の間に生む平均子供数である合計特殊出生率をみると、平成7年度は1・42であった。これは、現在の人口を将来も維持するのに必要な2・08を大きく下回っている。このまま推移すれば、日本の総人口は二〇五〇年には二割一三割減となり、更に急減すると予測される。少子化、高齢化による医療や福祉、社会保障の負担、公的介護保険、労働力等、女性に係わる問題はあまりにも多い。しかも過日行われた国際シンポジウムでは、医療費の削減

等が悪化する医療現場の状況や、健康への影響が世界的な課題として取り上げられた。女医であり、医師である私たちは、これらの現状を最も良く理解する者として直面する諸問題に積極的に取り組み、強力なリーダーシップを発揮することができるとはなからうか。

### ▼広報部

稲生 襄

年四回発行の会誌も今期の最終号となり感無量です。私は理事を四期務めさせていただきましたが最初の一期は会計部、何だかよく分らないうちに過ぎてしまいました。二、三、四期と希望通りの広報担当となり、至らぬながらも任期を果し得たのではないかと考えております。

お役裏に原稿のわりつけ、校正と少なくとも二回は通読させていただき、内容を知る事ができ、有難いことでした。

副会長の中濱昌子先生は毎回熱心に目を通してくださり、佐伯先生も横濱からマイカーでかけつけ、大坪先生は若さの威力で新風をふきかけてください。そして毎号二回の集会所場が本部会議室なので近いからお弁当を適当に見つくりつつ持参してください。編集会議のあと食事をしながらの雑談がまたたいへん楽しい。お互いに攻撃したり攻撃され

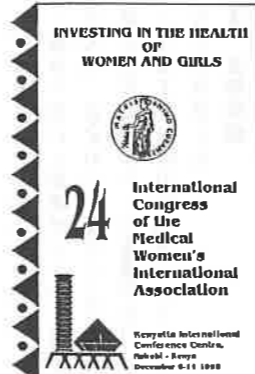
今日まで女医の多くの先輩が、その時代の最先端に立ち、苦しみ、障壁を乗り越え、すばらしい成果を上げ、歴史を築いて来られた。今、日本女医会は、総力を結集し、熱い期待に応える絶好の時を迎えている事を痛感する。

らしい会が他にあるでしょうかと思ふ程に……。全国の諸先生方多数のご出席をお待ちしております。一九六五(昭40)から総会が地方で開催される事になり、三年に一回(選挙の年のみ)東京にて開催されます。ちなみに次に開催県を順次列挙してみます。

### 第24回 国際女医会議のご案内

第24回国際女医会議はケニアのナイロビで開かれます。期日は1998年12月6日-11日です。テーマは女性の健康に関する研究となっています。第1回目のご案内は女医会事務局にあります。ご参加、お待ちしております。

平敷 淳子  
National Coordinator



### 平成8年度 講演研修会

2月22日・於京王プラザホテル

### 講演研修会を開催して

学術部 大澤 真木子

近年、拒食症、不登校の子供たちが確実に増えている。われわれ女医にとっても育児と仕事の両立は永遠の課題であり、『働く母親と子供の心の発達』思春期の心の問題を予防するために」と題して慶応大学小児科講師渡辺久子先生にご講演いただいた。学生を含み多くの聴衆が集まった。失礼ながら、私はかつて、こんな魅力的な女性に巡りあったことはない。名誉や、世間の既成概念に囚われず、ご自分の魂が感じているのちへの感動、人としての誠への思いを原動力として活動しておられるその存在は、私にとり大きな衝撃であった。



慶応大学小児科講師 渡辺 久子

### 働く母親と子供の心の発達

近年、拒食症、不登校の子供たちが確実に増えている。われわれ女医にとっても育児と仕事の両立は永遠の課題であり、『働く母親と子供の心の発達』思春期の心の問題を予防するために」と題して慶応大学小児科講師渡辺久子先生にご講演いただいた。学生を含み多くの聴衆が集まった。失礼ながら、私はかつて、こんな魅力的な女性に巡りあったことはない。名誉や、世間の既成概念に囚われず、ご自分の魂が感じているのちへの感動、人としての誠への思いを原動力として活動しておられるその存在は、私にとり大きな衝撃であった。

私自身二人の子どもを育てながら働き続けてきました。理解ある夫、温かい保育園、共に子育てを支え合う近所のお母さんたちや、働く仲間のおかげです。

年々母親の社会参加の道が開けているのはうれしいのですが、子どもは発達環境が殺伐としている今日、昼間いやれない分、働く母親は子どもの身になった思いやが必要でしょう。チック症で診察にきた小学二年のA子ちゃんは、産休明けから母親が働いています。「だから私はこの子に自信が持てません。仕事をやめるべきでしょうか」と母親は迷っています。A子ちゃんの悩みは少

要で、働くのを止めても、職場での夢を追い求める不幸な母では、逆効果である。リサイクル・マザーを自認しておられる先生は、『社会全体が子供たちを支えていく必要がある。すべての大人が、子供たちを自分の利潤追求の標的としてではなく、いのちの理論で愛情深く接する必要性』を主張された。先生を核とした活動が、女医会でも盛り上がることを期待する。

「意に反して家庭に入り、悶々としながら育児するのは赤ちゃんにもよくないけれど、自分が生き生きと仕事している場合も、思わぬ落とし穴があります。知らぬ間に職場のビジネスや競争の原理を家庭に持ち込む危険です。職場は計画通りに仕事をこなすビジネス原理の場。ところが家庭はほつとして本音をだしあう母性原理の場です。特に赤ちゃんは母親が頭をからっぽにしてほわつとしてあやしてもらおうことが大事です。働くお母さんは、家庭にかえってもピンとはりつめた育児をしてしまいがち。効率中心のテンポは赤ちゃんの心を不幸にするのです。」

大切なのは、子どもが両親に愛されていると信じて成長できることです。それには、①家庭がほつとして本音のだせる場で、理屈ぬきに抱きしめてもらえる関係があること。②子どもの幸せが最優先という親の基本姿勢が、子どもにしっかりと伝わっていること。特に子どもが幼いときには仕事を家にもちこまない。病氣、怪我、いじめられてしよけて親を必要としているときには、しっかりとばについてやることでしょうか。つまり親子の信頼関係のためにはいざとなれば仕事を投げ捨てる覚悟も必要でしょう。血洗いや洗濯はいつでもいいけれど、子どもの心の洗濯は今しかできません。子どもが昼間一人でがんばっているとき、隣の母親が温かく心に浮かぶかどうかが一番大事なことなのです。

し違います。「お母さんはいつもせかせか忙しそう。休みの日も、甘いようとするとうるさがる。私のこと嫌で邪魔したい。」そこで母親に頭をからっぽにして、しっかりと抱きしめよくかわってもらったら、症状は綺麗に消えたのです。問題は仕事をしなないではなく、母親の子を思う気持ちなのです。

フランス議会は一九八九年に「新しい時代の働く母親と子供の心の発達」というシンポジウムを開きました。社会政策作りには、世界の乳幼児の専門家が招かれ、私も参加しました。そこで乳幼児研究者のスターンが次のことを強調したのです。

講演研修会のビデオを作成しました。ご希望の方は事務局へご連絡を。

### 支部だより

#### 千葉支部だより

千葉支部 三橋 麗子

平成元年日本女医会総会が千葉で行われました折、支部長日高歐子先生は大変なご努力で百名をこす会員を集められました。数年経ちまし

た現在高齢化で少なくなり、八十五名となりまし。最近入会の方は若くまた国際的に広範囲となつてまいりました。千葉の特徴は会員の出身校が多数であり、現在女子医学生は全医学生数の三割以上を占めており、すなわち会員の大半が女子医学生でおります。

先般12月20日の日医ニュースに当会員野田安子先生が担当の千葉県医師会報インタビュー記事「ジョイフルライフ」がとり上げられました(楽しいジョイフルと女医フルライフをかけたあります)。文藝春秋社長室長の雨宮秀樹氏が「女医の生活。家庭との両立の苦労話、女性ならではのきめ細い話があるので」と評されております。野田先生はますます意欲を燃やし、対象の女医さんもきこたえのある内容で、はちきれそうなくらい続き、女医のみならず読む人を唸らせて、これからも非常に楽しみにしております。

県医師会報には女医会千葉支部のページが設けられ、女医会全体の歴史や支部のお知らせ、行事の報告、中央のワークショップ、講演会のサマリーが載せられます。日高先生の南面のカット、会員の俳句等も夢も描がってまいります。

講演会の演者は大学教授、弁護士、薬膳の専門家等々の他、今回は身近の会員からヘルスカウンセリング学会認定カウンセラー稲葉美佐子先生を予定しております。

### 宮城支部だより

宮城支部 今泉栄子

宮城県においては、日本女医会宮城支部の全員をメインに、これに日本女医会非会員の女医有志を加えて宮城県女医会を作っている。こうした事情にあるため、以下、宮城県女医会なる名称を使わせて頂くことにする。当会は、佐々木和子会長、山本時子副会長のもと会員百名弱を擁し、7月の総会のほか、年四回の例会を開催し、毎回医学のみならず種々の分野の講師をお招きし、ご講演をいただいている。

主な事業は県内女性医師の研究支援を目的とした研究助成がある。会員からの推薦により申請者を募り、役員会で決定する。年会費を財源として平成3年より年間一、二名、計十二名の若手女医に研究費の授与を行った。この助成を受けた方には当

あります。幕張メッセは新都心といわれ、成田には東京国際空港があります。大病院は千葉大に加え、東歯市川、帝京市原、慈恵柏、東邦佐倉、順大浦安、日医北総があり、学会講演会がひしめいております。大きな可能性を持つ環境に恵まれ、これから長続きのする活動をあげていきたいと存じます。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

会に必ず入会してもらい、研究成果を後日の例会の席上、会員にわかりやすく発表してもらっている。平成8年度定時総会の模様から、以下当会の活動の一端をご紹介します。平成8年度宮城県女医会総会は昨年7月6日(土)会員二十九名の出席の下に開催された。

佐々木会長の挨拶では、最近の女性医師の著しい増加に触れ、時まさに医師過剰時代を迎えつつある今、医学的にはもちろん、人間的・社会的により厳しい姿勢で仕事に臨むべきであること、また女医の増加に見合う数の代表を医師会に送り出し、われわれの力が医政、医療により反映されるよう努力すべきことなどが強調された。

三品前会長を議長に選出し、議事は型通り報告(日本女医会理事報告、仙台市医師会理事(当会員)報告、同好会報告を含む)、審議と進行した。審議における主な決定事項は仙台市女性企画室主催講演会への講師派遣、研究助成の継続、日本女医会公開講座(平成9年度、仙台にて開催予定)の準備、他県女医会との交流、全会員への総会及び例会報告書送付の継続、仙台市及び古川市の医師会報への当会行事掲載の継続等である。

議事終了後、第6回宮城県女医会研究助成金授与式が行われた。今回は、東北労災病院小児科・遠藤廣子先生で、研究課題は「反復性中耳炎罹患乳幼児の抗インフルエンザ菌抗体値」である。

特別講演には、山本副会長の紹介によって大変ユニークな講師をお招きした。テレビマンユニオン取締役会長・萩元晴彦氏がその人で、演題は「あらゆる新しいこと・素晴らしいこと・美しいことは、一人の人間の熱狂から始まる。聞けば元気のこの話」。氏は昭和28年早稲田大学露文科を卒業後、最初TBS、ついでテレビマンユニオンにて、プロデューサーとして揺るぎない地位を築かれた。受賞作品は数多く、また来たる平成10年に開催される長野オリンピックの映像総監督も務められる。氏によれば、プロデューサーたり得るためには、①人や物にとことん惚れ込む、②本当にやりたいことを持つ、そして③献心する心を持つ、

ということが必要であるという。自身表舞台に出ることはなくとも、その選択の目が作品の魅力を決定的にするという。その結果として、心臓外科の榎原氏、指揮者の小沢氏、さらにはかつてのクラシック音楽界の帝王カラヤン氏、世界的に著名な数学者広中氏等々にも接触、取材、映像化を果たされている。取材の苦労談や、頂点を極められた方々が、さらに極限を目指して自己の能力を発揮すべく努力される姿は、私たちの思い及ばぬ厳しさ・激しさ・純粋さに溢れていることを、豊富な例を引用し、時間半にわたって話してくださいました。人間には実年齢のほかに、自分の考え方・感じ方の基本となる年齢があり、ご自身では甲子園に出場された十七歳がこれにあたるという。「初老の肉体に少年の心を持っている人間」と氏は自らを語った。私たちに

ついて言えば、自分の人生でどこがエポックメイキングであったか自覚できない人のほうが多いのではないだろうか。

懇親会では、各会員が自己紹介を兼ねて、自分の来し方とお話に出た方々や萩元氏のそれとを比較し感想を述べ合った。

### 岸直枝先生を偲んで

群馬支部 金子栄美也

医療法人岸会岸病院(桐生市)理事長、社会福祉法人桐の実会わたらせ養護園(新里村)理事長の岸直枝先生が1月2日午前9時10分、急性心筋梗塞で亡くなりました。八十七歳。戦前から女医として活動する一方、障害者福祉やガールスカウト分野でも大きな足跡を残し、地域社会にもいろいろと貢献されました。

一九〇九年(明治四十二年)十一月十四日生れ。県立桐生高等女学校卒、帝國女子医専入学。二宮町知足寺住職の相場千里上人ご夫妻を父母のように慕い、一人娘の翠さんと五年間大森の学校へ通い、勉学しました。朝は5時半より本堂のお掃除をし、鐘を撞き、灯明を上げ大薫香に火を付け念仏三昧、「病気を診る医者でなく病人を治す医者になれ」と上人様に教えられ、頂いた水晶のお数珠は七十年直枝先生の左手首をはなれませんでした。

昭和8年卒後都立大久保病院へ勤務、昭和9年4月父茂氏急逝され、高木医院の跡をつぐため桐生に戻り、桐生で第一番目の女医とし、眼科内科小児科で一生懸命がんばり、外柔内剛、患者さんに喜ばれました。母上と姉妹らの養育、進学させ、十七

名の医師を出来上らせたのでした。昭和30年に高木病院を、弟高木香一先生に譲られました。

山と川に囲まれた美しい土地で、(前桐生医師会長)婚約者岸祐雄先生と精神病院建築中に、交通事故により祐雄先生は、首から下全麻痺の重症となったものの31年に結婚、岸病院院長となられました。院長はねたきりですべて直枝先生がお世話申し、ただ頭脳はすばらしく、毎朝職員を指導され、「直枝は私の血であり肉であり魂だった」と感謝。昭和36年に昇天されました。

そして直枝先生が理事長院長となりベッド数四一八床となりました。昭和41年11月に念願の障害を持つ子供たちへの愛の手「社会福祉法人桐の実会わたらせ養護園」をガールスカウト日本連盟総主事清水俊衣先生と二人三脚で開所し、順調に。日光たつぷり浴び子供たち幸せです。昨年11月16日創立三十周年を祝い、直枝先生曰く「施設は人なり」と、子供たち、職員、会員感動しました。

日本女医会理事、日本ガールスカウト会長、国際ソロプチミスト、ユネスコ、桐女同窓会長、ゆかり之短歌会、桐生女医会長、県市教育委員

### 社団法人日本女医会第42回定時総会のお知らせ

総会まであと一ヶ月となりました。先生方にはますますお元気で、ご活躍のこととお慶び申し上げます。すでにお申し込みいただいておりますが、第42回定時総会を左記の日程のように開催いたします。

日時 平成9年5月24日(土)  
場所 京王プラザホテル

〒160 東京都新宿区西新宿二二二-1  
電話 〇三三三四四一〇一一

評議員会 午前10時半~12時(昼食を含む)  
総会 午後1時~4時半

登録費 三、〇〇〇円  
懇親会 午後5時半(会費 一、二、〇〇〇円)

#### 〈諸行事のご案内〉

●5月23日(金)

一、観劇 歌舞伎座 昼の部(11時開演)

費用一四、五〇〇円  
二、大相撲五月場所見物 費用一四、五〇〇円

マス席 費用約四〇、〇〇〇円  
イス席 費用約二〇、〇〇〇円

終了後、ホテル日航東京までのバスを用意します。  
三、都内バス観光 希望者が少ないため残念ながら中止いたします。

四、前夜祭

ホテル日航東京(お台場) 午後7時より  
費用一五、〇〇〇円  
京王プラザホテルの前より送迎バスを用意します。

●5月24日(土)

一、朝食会

なつかしい方々と久方ぶりで楽しく朝食を一緒にしましょう。(ホテルに宿泊なさらない方も、ぜひご参加ください。) 費用三、〇〇〇円

二、お茶席

おいしいお菓子とお抹茶で疲れを癒してください。  
三、懇親会にご出席の皆さまのため、NHK大河ドラマ「毛利元就」に主演の中村橋之助丈に舞踊を願っていたしました。どうぞお楽しみに。

●5月25日(日)

一、ゴルフコンペ 武蔵ヶ丘カントリークラブ  
二、観劇 歌舞伎座

費用一四、五〇〇円  
三、大相撲五月大歌舞伎 費用一四、五〇〇円

なお、歌舞伎見物も相撲見物も、まだ余裕がございます。ご希望の方は事務局までお申し込みください。

社団法人日本女医会/東京都支部連合会

添田百枝先生のご逝去を悼む

副会長 野澤良美

平成9年1月15日午前7時58分、大先輩の添田百枝先生が永眠遊ばされたとの突然の訃報に接し、ただただ驚愕致すばかりでございました。先生は昭和11年帝国女子医学専修学校...

大森安恵先生のご著書を読んで

神奈川支部 稲生 襄

東京女子医大の糖尿病センター所長で第三内科主任教授の大森安恵先生が一九九二年六月「彼岸花の鎮魂歌」という約三〇〇ページにわたるご本をお出しになり感激して拝見した。この後一九九六年六月に二冊目として「女医のころ」と題して約一七〇ページの二冊をお出しになり...

など。紺綬褒賞、勲四等宝冠章、吉岡弥生賞など褒賞・表彰多数。医療・福祉・多方面にわたり活躍、ご交際も広く、後輩への愛とご指導、本当に有難うございました。

直枝先生のつよいご意志、美しきご一族皆様に引き継がれご清栄と存じます。心からご冥福をお祈り申しあげます。

近況あれこれ
理事(広報担当)を今期で辞任させていただきますことになった。ご挨拶がわりに一文をと、広報部長の稲生先生からおすめをいただいたのは...

神奈川支部 佐伯輝子

24日までおつとめになられる。昭和34年に女子医大の中山光重先生が勤務めになられてより女子医大として三十八年ぶり、はじめての女性会長ということで大変の様子である。

石川町勤労青年ホームにおいて石川町・添田家合同葬儀が行われ、日本女医会から生花が捧げられ、さらには佐藤千代子会長の追悼の言葉を野澤が代読させていただきましたことをご報告申し上げます。

【学術部】 平敷常任理事 本日のワークショップの出席状況の報告。
【広報部】 松本理事 第一四九号会誌の割付会議は12月10日過ぎに開催予定。
【事業部】 丸茂常任理事 10月22日武蔵野市で開催された公開講演会、盛会にて終了。

理事会議事録

日時:平成8年11月30日(土) 午後2時30分
場所:京王プラザホテル
出席者:佐藤、白浜、中濱、野澤、青井、栗原、佐々木、野本、橋川、橋本、平敷、松井、丸茂、大澤、加藤、鹿田、清水、田中、西嶋、久田、松本、村田、吉崎、南雲、藤岡、川田、佐伯、宮原、山本、野呂

【学術部】 平敷常任理事 本日のワークショップの出席状況の報告。
【広報部】 松本理事 第一四九号会誌の割付会議は12月10日過ぎに開催予定。
【事業部】 丸茂常任理事 10月22日武蔵野市で開催された公開講演会、盛会にて終了。

が、再度検討する。

八、定時総会について

・東京都支部で計画中のイベントの紹介があった。

・今後総会を5月第3土曜日にしてはとの意見があったが、改めて検討する。

九、その他

・1月理事会について

1月25日(土)理事会終了後、京王プラザホテルにて新年会を行う。

・職員賞与について  
予算通り。

・日中医学協会の年会費について  
例年どおりの会費を納めることに決定。

### 理事会議事録

日時：平成9年1月25日(土)  
午後3時30分

場所：京王プラザホテル

出席者：佐藤、白浜、中濱、野澤、青井、石原、稲生、栗原、佐々木、野本、橋川、橋本、松井、丸茂、大坪、加藤、佐伯、鹿田、川田、清水、田中、西嶋、久田、松本、宮原、村田、吉崎、藤岡 (以上28名)  
欠席者：佐野、平敷、大澤、山本、野呂、南雲 (以上6名)

会長挨拶

11月理事会議事録を承認する。

議事検討事項

一、庶務報告

別紙どおり報告、承認される。

二、会計報告

平成8年12月分収支、別紙どおり報告、承認される。  
栗原常任理事より現在までの会費納入状況の報告。

会費納入を分割にとの意見もあるので、次回振替依頼書を発送する際に希望を聞くなど方法を検討する。

三、各部報告

【学術部】

・2月予定の講演研修会の申込者、現在のところ八八名。  
・「西日本での開催、VTRの貸出」等、反響が多いので前向きに検討する。

【広報部】

・第一四九号会誌の校正会議は1月16日に開催、今月末に発送予定。  
【事業部】

・特になし  
【渉外部】

・国際婦人年連絡会において「介護保険」について討論されているので女医学会としても今後検討していきたい。

一、平成9年度事業計画案および予算案について  
・予算に近い収入があるが、繰越金

が昨年比で約三〇〇万円程少ないので来年度は約四、〇〇〇万円の子算になる見込み。

・各部計画案および予算案を2月22日まで提出。

・収入を上げる事業を考えてはとの

意見があった。

二、吉岡弥生賞審査委員会、荻野吟子賞選考委員会、学術研究助成候補者について

・審査、選考委員会は2月22日(土)に開催。

・優功賞の規定は他の賞と同様とする。改めて庶務部で検討。

三、第42回定時総会について  
・都支部連合会で計画中の行事についての発表。  
・選挙中のイベントはVTR鑑賞など、今後庶務部と事業部で検討する。  
四、「地域医療の助成」について  
・9月理事会で検討された規定を再検討し決議した結果、賛成多数で決定。  
五、3月の理事会旧役員との懇親会について  
・3月22日、東京キャピタルクラブにて開催。旧役員の名簿を早急に作成し御招待状をお送りする。  
六、その他  
・慶弔規定の特別措置も考えては如何かとの提案が佐藤会長よりあった。  
・渉外部より報告のあった「介護保険」について如何に女医学会が関わっていくか話し合い、「女性の基本権利を確立するための委員会」と同様に小委員会を構成し、今後検討していく。

### 会員動静

新卒入会者(敬称略)

渋谷支部 平林あゆみ  
東女学内支部 安藤陽子  
岩淵理子

愛知支部 石田委子、佐久間晶子  
大阪第1支部 上田久仁子  
大阪第3支部 清水香代子  
福岡支部 木下句子

入会者(敬称略)  
宮城支部 永野千代子  
千葉支部 莎其拉  
神奈川支部 菅野智恵子  
北支部 末丸純子  
新宿支部 藤居静子、山口時子  
世田谷支部 佐藤明子  
千代田支部 谷本佐理名  
東女学内支部 矢崎枝里子  
滋賀支部 吉岡うた子  
大阪第1支部 酒井めぐみ  
広島支部 福岡幸恵  
徳島支部 柏木節子  
福岡支部 井山薫

退会者 二六名

物故者  
宮城支部 渡辺てる子  
群馬支部 岸直枝  
千葉支部 地引晶子  
渋谷支部 添田百枝、本多三枝子  
都下西支部 赤坂サナミ  
大阪第10支部 中野好子  
香川支部 香西ミ子  
徳島支部 雫俊子

### 集記

満開の桜の下で麗しい春の到来に心が踊りこの国の平和を喜んだ。また同時に地球上ではこの瞬間でさえ飢えに苦しむ人たちがいる事を思い心が傷んだ。私たちは今や地球規模で平和、医療、福祉、環境問題などを考えていかなければならない。  
平成8年度講演研修会での「働く母親と子供の心の発達」は母親の役割を渡辺久子氏自身の経験を混えて分りやすく話され、学生たちにも感銘を与えた。社会全体が働く母親をもう少し援助してゆきたい。

各部報告にみるように日本女医学会はさまざまな活動をつけ社会に役立つ立っている。新しい年度を迎えるにあたり、さらなる発展が期待される。  
日本の医療と福祉担いたる我等はやさし吉野桜か (大坪)

平成9年4月20日 印刷  
平成9年4月25日 発行

編集人 稲生 襄  
発行人 日本女医学会  
発行所 東京都渋谷区渋谷2-8-7 青山宮野ビル  
社団法人 日本女医学会  
☎三三九九八〇五七一  
FAX三三九九八七六九  
東京都文京区水道1-5-16  
株式会社 金剛出版